

環境会計

ニチレイグループは、環境保全活動に要したコストおよび環境保全上の効果を定量的に把握するために、2000年度より環境会計を導入しています。

環境保全コスト

(単位:千円)

コスト区分	主な取組み内容	食品工場		物流センター	
		投資額	費用額	投資額	費用額
事業エリア内コスト		117,001	889,151	84,491	260,146
内訳	公害防止コスト	47,180	597,534	14,513	59,042
	食品工場 ● 水質汚濁防止のための廃水処理設備の維持、管理、負荷削減 ● 加熱や給湯のためのボイラー設備や食品臭気対策設備の維持管理 物流センター ● 水質汚濁防止のための廃水処理設備の維持、管理、負荷削減 ● 停車トラック騒音対策				
	地球環境保全コスト	35,388	22,197	69,978	77,318
	資源循環コスト	34,433	269,420	0	123,786
	上下流コスト	0	0	0	8,551
	管理活動コスト	0	17,282	0	22,999
	社会活動コスト	0	0	0	825
合計		117,001	906,434	84,491	292,521

2014年度投資額の主な内容

(食品工場)

- 環境負荷の少ない冷凍食品製造装置の導入
- 廃水処理設備の維持、負荷低減

(物流センター)

- 冷凍機の運転効率化に関わる設備の更新
- 電力の見える化に関わる設備の導入
- 建物への遮熱の施工に関わる費用

集計範囲

国内の主な食品工場および物流センター

集計の考え方・方法

- ①減価償却費は経理システムの「固定資産一覧」を基に、廃水処理設備などの環境負荷に関わる設備を対象とし、法定耐用年数を用いて計算しています。
- ②人件費は環境保全活動ごとに必要となる作業工数を割り出し、作業工数に作業人員数および事業所の平均賃率を乗じて算出しています。

2014年度環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

効果の内容		効果金額
収益	リサイクルによる売却益	28,702
費用削減	廃棄物削減による原材料、資材購入費および廃棄物処理費の削減	3,659
	省エネルギーによるエネルギー費の削減(電気)	2,857
	省エネルギーによるエネルギー費の削減(熱)	9,347
	省資源(節水、容器包装減量など)	10,354
合計		54,918

集計範囲

ISO14001認証取得済みの11工場

集計の考え方・方法

- ①測定結果などに基づき集計可能な実質的效果(リサイクル推進活動により生じた売却益、電力削減などにより生じた費用削減)についてのみ集計しています。
- ②2013年度および2014年度に新たに実施した環境保全活動(年度の途中から実施したものも含む)によるもので、2014年度に発生した利益貢献金額に相当します。

※報告値を金額訂正により一部修正しています。